

第七次栗東市行政改革大綱 平成 30 年度上期進捗状況一覽

(課)

第七次東栗市行政改革大綱平成30年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目	改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標 指標		平成30年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
					自治振興課	市民参画等推進委員会での二次評価 (評価・検証)回数			
(1)	意識の醸成 市民参画と協働のまちづくり への理解促進	「市民参画と協働のまちづくり 推進条例行動計画」の推進	自治振興課		市民参画等推進委員会での二次評価 (評価・検証)回数	市民参画と協働によるまちづくりへの理解を促進するた め、市が目指す協働や「新しい公共」の姿、その取り組み方 策等を明らかにし、今後の市民参画と協働によるまちづくり の指針となる「市民参画と協働によるまちづくりの推進条例 行動計画」に基づき推進します。 ・市民参画と協働によるまちづくりの推進条例行動計画に 基づき推進します。	3	市民参画等推進委員会を開催し、概ね計画通り 推進しています。	
		啓発・情報発信	自治振興課	広報課	「市民参画と協働によるまちづくり通信」 配信回数	・あらゆる機会をとらえて、市民参画と協働によるまちづくりへ の意識の醸成を図るとともに、活動事例や成果を積極的に 情報発信します。 ・市民参画と協働によるまちづくりへの意識の醸成を図ると ともに、活動事例や成果を積極的に情報発信します。	3	市広報や市民参画と協働によるまちづくり通信に て、市民や職員向け、活動事例など情報配信し ています。概ね計画通り実施しています。	
(2)	行政への参画 PDCAサイクルの各段階での 参画推進	パブリックコメントや各種アン ケート調査などによる市民意 向の把握	広報課		実施したパブリックコメントに対する意 見の集約	パブリックコメントにより市民意向を把握し行政への市民参 画を推進します。	3	パブリックコメントを実施しました。 (案) H30.6.26～7.25 (仮称)栗東市空家等対策計画 (案) H30.6.26～7.25 (仮称)栗東市空家等対策条例 (案)(意見1件)	
		市民参画と協働によるまちづ くりの推進管理	自治振興課	元気創造政策課	市民参画等推進委員会での二次評価 (評価・検証)回数	・個別計画や各種施策において、計画(Plan)段階、実行 (Do)、検証(Check)、見直し(Action)段階において市民参 画を推進し、市民自線を重視した取り組みを促進する市民参 画を検討・実施します。 ・各施策において市民参画と協働を推進する仕組みを検 討・実施します。	3	市民参画等推進委員会にて、行動計画に基づき 進行管理に取り組んでいます。	
(3)	広聴制度の充実 積極的な情報共有と説明責 任の徹底	「市長のこころにちはトーク」、 「市長と気軽に言葉交わそう」などの制度充実	広報課		「市長のこころにちはトーク」、「市民と気 軽に栗東まちづくり座談会」参加者数	市長と市民の直接対話による貴重な機会を生かし、いつま でも住み続けたいくなる安心な元気都市実現に向け取り組 みます。	3	市長と気軽に言葉交わそう9回、市長への手紙 119件、市長のこころにちはトーク2回、出前トーク1 回などの取り組みを行い、市民の意見や提案によ る対話型まちづくりを推進しました。	
		市民の意見や提案に関する 情報のナレッジマネジメントの 構築	広報課		ナレッジマネジメントの仕組みの検討	市民からの提案や意見は、庁内LANなどを通じて 組織内で共有しています。	2	市民からの提案や意見は、庁内LANなどを通じ て組織内で共有しています。	
(4)	協働の実践 公共サービスの主体を育む 協働事業の充実	市民意見を公開する制度の 検討・実施	広報課		市民長からの意見をも市政に反映するた め、整理した情報を広報等で公開した 件数(延べ件数)	市長への手紙など市民意見等の反映や対応の考えをでき る限り公表する制度を検討し実施します。	3	市長への手紙やまちづくり座談会での市民からの 提案や意見は、直接所管課にて対応することを依頼 しているほか、庁内LANなどを通じて組織内で共 有し、HPでも公開しています。	
		庁内各課による地域等への 協働事業の参加呼び掛け・ コーディネート	自治振興課		職員研修等への参加人数	・庁内各課が協働事業の可能性を検討し、地域や団体など への呼び掛けやマッチングやコーディネートに取り組むこと で、今後の公共サービスを担う主体を育みます。 ・庁内各課による協働事業の可能な検討を促進します。	3	・後期に、市民との協働にかかわる職員意識の高揚 に向けた研修を計画しています。 ・庁内各課で既存事業にて既に協働の形態で進 めている事業の取組状況と内容について調査す る予定です。	
(5)	地域との協働の 推進 地域主体のまちづくりに向け た環境整備	大学や企業などとの多様な運 営・コラボレーションの検討・ 実践	自治振興課	商工観光・労政課 元気創造政策課 学校教育課	職員研修等への参加人数	・庁内各課が協働事業の可能性を検討し、大学や企業など への呼び掛けやマッチングやコーディネートに取り組むこと で、今後の公共サービスを担う主体を育みます。 ・大学や企業などとの多様な連携を検討します。	3	龍谷大学の協定にもとづき連携協議会を設置 し、個々の事業について協議を行っています。	
		協働事業制度の活用・充実	自治振興課	元気創造政策課	協働事業提案制度実施団体件数	・まちづくりの進展や、個々の地域課題への柔軟な対応に 向け、更なる地域活動に係る補助金制度等の再編・統合、 交付金化に向けた取り組みを進めます。 ・地域活動補助金制度の改善を検討します。	3	・後期に、職員意識高揚に向けた職員研修を計画 しています。 ・庁内各課で既存事業にて既に協働の形態で進 めている事業の取組状況と内容について調査す る予定です。	
(6)	地域との協働の 推進 地域主体のまちづくりに向け た環境整備	地域活動補助金制度の再 編・統合、交付金化の検討・ 実施	自治振興課	財政課	交付金化補助金延べ数	・まちづくりの進展や、個々の地域課題への柔軟な対応に 向け、更なる地域活動に係る補助金制度等の再編・統合、 交付金化に向けた取り組みを進めます。 ・地域活動補助金制度の改善を検討します。	3	自治会活動交付金を交付済みです。	
		自治連合会、地域振興協議 会、コミゼンの連携・充実のた めの仕組みの検討・実施	自治振興課	生涯学習課	地域振興協議会連絡会開催数	・まちづくりの進展や、個々の地域課題への柔軟な対応に 向け、自治連合会、地域振興協議会、コミゼンの連携を充実するな か、地域主体のまちづくりの検討を進めます。 ・自治連合会、地域振興協議会、コミゼンの連携・充実のため の仕組みを検討します。	3	・自治連合会や地域振興協議会連絡会及びコミュ ニティセンター管理運営団体長会議を開催しまし た。 ・各団体における課題等について、後付協議中で あります。	
(6)	プラス創造型改 革 協働によるまちづくりを支える 仕組みづくり	「市民人材バンク」の仕組み づくり・運用	自治振興課	生涯学習課	人材バンク登録団体数・人数(生涯学 習、ボランティアセンター)	・市民参画と協働によるまちづくりの進展を図り、まちづく り情報を集積・共有するため、市民人材バンクのあり方や仕 組みについて検討します。 ・市民人材バンクのあり方や仕組みについて検討します。	3	ボランティア市民活動センターと中間支援組織の あり方について、協議検討中です。	
		NPOやボランティア団体、大 学や企業等との連携・プラット フォームづくり	自治振興課	商工観光・労政課 元気創造政策課	プラットフォーム数	・市民参画と協働によるまちづくりの進展を図るため、NPO やボランティア団体、大学や企業等との連携や、プラット フォームづくりを進めます。 ・連携や、プラットフォームづくりを進めます。	2	連携・情報交流する場の拡大について検討中 です。	
(6)	プラス創造型改 革 協働によるまちづくりを支える 仕組みづくり	中間支援組織・機能の充実	自治振興課		中間支援組織数	・市民参画と協働によるまちづくりを推進する中間支援組 織・機能の充実を図ります。 ・中間支援組織・機能の充実を進めます。	3	ボランティア市民活動センターと中間支援組織の あり方について、協議検討中です。	
		大学包括協定など、積極的な 大学連携への取組み	自治振興課	元気創造政策 課、総務課、学 校教育課	連携大学数	・市民参画と協働によるまちづくりの更なる進展を図るた め、大学連携に向けた取り組みを進めます。 ・大学連携に向けた取り組みを進めます。	3	龍谷大学の協定にもとづき連携協議会を設置 し、個々の事業について協議を実施します。	

第七次東栗市行政改革大綱平成30年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目	詳細項目	改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標		平成30年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
					指標				
2	(1) 事務事業の見直し	事務事業の見直し・再編(優先順位の決定)	元気創造政策課	総務課	事務事業の見直し・再編による公共サービス主体の明確化		・事業の優先順位に「選択しと集中」をつけた行政運営に取り組みます。 ・財政健全化を見据えた事務事業を見直します。	3	・事務事業の精査により、重点事業を中長期財政見直し(特定事業)に盛り込みました。 ・次年度以降における(新)集中改革プランのあり方検討に着手しました。
		重要ならではのまちづくりの創造	財政課	元気創造政策課	普通会計市債残高		プライマリーバランスの黒字維持につながる財政運営に努めます。	3	平成29年度の投資経費の節減による市債発行額の削減を図ります。
		国・県予算及び施策の要望	元気創造政策課	元気創造政策課	国・県要望事項数		・引き続き要望活動を行うことにより、国・県予算の確保などに努めます。 ・次年度に向けた要望事項を早期にとりまとめます。	4	平成31年度の予算確保や施策実現のために、国・県予算並びに施策に対する要望活動(国・県要望34項目)や、関係機関への要望活動を行いました。
		総合的・組織横断的なアウトソーシングの検討・実践	元気創造政策課	総務課、自治振興課	事務事業の見直し・再編による公共サービス主体の明確化		総合的な観点から組織横断的に民間委託などを推進していきます。	2	組織横断的な新たなアウトソーシングの実現に遅れをきたしています。
		新たなアウトソーシングの推進	財政課	財政課	公共施設等総合管理計画の策定、計画的な維持管理の実践		公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設計画(庁舎)の策定に取り組みます。	3	公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設の具体的な取り組みに向けた行方、有効活用のための経路整理と優先性の検討結果に基づき、庁舎等の個別施設計画の策定を行っています。
		民間委託等の推進	元気創造政策課	総務課	広域計画(連携協約)などの検討と推進		広域行政における運営の効率化を図り、市民サービスの向上に繋げます。	2	・湘南総合調整協議会(広域行政協議会・湘南市)において、広域的課題や情報の共有を図りました。 ・草津市(火葬場など)及び守山市(幹線道路など)との協働が進んでいます。 ・市民と行政の協働型Facebook!「うますぎる栗東」ページへの「いいね!」数が9月末まで1,465となりました。 ・現在、市民記者(りっとうミニジャーナー)の投稿率が26.5%を得ています。
(7) プラス創造型改革	(4) 経費の削減	グループウェアシステムを活用した積極的な情報共有	総務課	元気創造政策課	「電子会議室」の開設数		グループウェアシステムの機能を最大限に活用し、積極的な情報共有に取り組み、活用について継続的に検討します。	2	グループウェアシステムの活用については検討中です。
		コストの見える化による事務改善の推進	元気創造政策課	財政課	事務改善の推進		経費の削減を意識した事務事業への取り組みを行います。国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行います。	3	業務の明確化を進め、職員のコスト意識の向上に努めることができました。
		積極的なコスト管理の推進	財政課	元気創造政策課	グループウェアシステムを活用した継続的な制度紹介(実施率)		国や県などからの情報提供に基づき、グループウェアを通じて各課に情報提供し、特定財源の積極的な活用を行います。	3	予算編成にあたり、国・県などから提供された情報を提供し、特定財源の積極的な確保を図ります。
		事務事業量と人員の適正化	総務課	元気創造政策課	情報システム活用による紙・エネルギー・時間等の節減		グループウェアシステムの機能を最大限に活用し、情報システム活用に取り組みます。	2	効果的な情報システム活用のあり方を検討中です。
		人員の適正化	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数		事務事業の改善、アウトソーシング等のポイントを踏まえるが、適正な人員規模となるように努めます。	3	定員管理計画を基本としながらも、業務量を勘案する中で適正な人員確保を行いました。
		組織の適正化の検討・実践	総務課	元気創造政策課	職員一人当たりの市民の数		定員管理計画を基本としつつ、新規の行政需要・課題等に対応するため、計画的に新規職員の採用事務を進めます。	3	定員管理計画を基本としながらも、業務量を勘案する中で適正な人員確保を目的に平成30年度採用計画を作成し、これに基づく採用事務を行いました。
3	(1) 財政規律の確保	経営効率化や整理統合の推進	元気創造政策課	元気創造政策課	外郭団体等の経営効率化・整理統合		外郭団体や出資団体、財政援助団体などの経営状況を把握します。	2	外郭団体の経営状況の把握に留まっています。
		地域資源活用ビジョンの策定・実践	地域戦略課	広報課	地域資源活用ビジョンの策定・実践		・引き続き、シティセールズ戦略の推進に取り組みます。 ・地域資源を発掘、活用、発信することにより、栗東の元気が創出できる動画投稿の推進を図ります。	3	・シティセールズについては、推進部会コア会議が開催できましたが、地域資源活用ビジョンについては、前年度までの内容を精査する必要があります。 ・市民からの投稿による元気創造動画を4月と6月に2作、ホームページ上にアップし、広く栗東らしさを伝えることができました。
		人ロビジョン・総合戦略の策定・実践	元気創造政策課	広報課	戦略の策定・実践		馬を活用した事業(ホースセラピー事業)の早期展開を図ります。	3	「馬のまち栗東」にふさわしい事業展開が求められており、民間事業者による「ホース・アシスタント・セラピー」を取り入れた放牧後等サービス事業の実施に向けて、官民協働により協議調整を行っています。
		市民のわがまち意識(シビックプライド)の醸成	自治振興課	広報課	地域コミュニティ進行調整担当職員数		市民のわがまちに向けた誇りや愛着の醸成を進め、市民の票集めにつながる行政運営に取り組みます。	3	自治会活動等への運営支援を通じて、郷土愛の醸成に貢献しています。
		都市のブランド戦略の推進	広報課	広報課	シティセールズ戦略の策定・実践		少しづつ上昇してきているりっちゃん認知度をさらに上げることによりシティセールズの一翼を担います。	3	・りっちゃんについては、栗東市をPRすることを目的に市内外のイベントや行事に着ぐるみ出演を行いました。 (出勤回数 18回(前年同時期18回)、ゆるきゃらクラブプリ2018出場中、ご当地部門 全507体中、57位)
		新産業創造イノベーションの推進	商工観光労政課	元気創造政策課	収集した情報の分析		官学連携の組織・ネットワークづくりを目指した情報収集を行います。	2	市内の企業や直間経済団体との会合に参加し、情報収集とネットワークづくりに努めています。
3	(1) 財政規律の確保	収支バランスの取れた財政運営	財政課	元気創造政策課	財政運営の基本方針の策定(達成率)		財政運営の基本方針を遵守した財政運営を行います。	3	財政運営基本方針を遵守した財政運営のため、予算執行説明会等において周知を行うとともに、予算執行に努めました。
		収支バランスの取れた財政運営	財政課	元気創造政策課	毎年度の中長期財政見通しの策定(改訂)		・中長期財政見通し(策定)における特定事業の採択を通じて、事業の選択と集中を行います。 ・毎年度予算編成に向けて、選択と集中による具体的な事業内容の精査が必要です。	3	・一定の前提条件に基づき、策定・議会の説明及びホームページでの公表を実施済みです。 ・今後、来年度予算編成に向けて、具体的な事業内容の精査が必要です。
3	(2) 輸入の確保	市民の暮らしを支える安定的な収入の確保	地域戦略課	財政課、会計課	栗東市地域基本計画新規雇用創出人数		企業との連携を深め、情報共有に努めます。	2	上半期は1社にとどまっています。
		輸入の確保	総務課	財政課、会計課	コンビニ収納の割合		納税者の利便性向上を図るためコンビニ収納を継続します。	3	関係機関との連携のもと、確実なコンビニ収納を行っています。

第七次果東市行政改革大綱平成30年度上期進捗状況一覧(課)

重点項目		詳細項目		改革項目	主管課	関係課	アウトプット指標 指標		平成30年度の取り組み方針	5段階評価	自己評価(上期)
4	柔軟性のある組織体制 に向けた風土改革	(4) 革 新	プラス創造型改 造	市民に分かりやすい組織目 標の設定・目標管理、市民へ の情報発信 総合計画の進捗管理と目標 管理を運動させた。市民に分 かりやすい行政評価手法(果 東モデル)の構築・実践	元気創造政策課	総務課	市民に分かりやすい組織目標の設定・ 目標管理、市民への情報発信		・品質目標マネジメントシート(簡素化)及び目標進捗状況 シートを用いて、行政経営ソールの評価・改善を行います。 ・評価基準の明確化を図ります。	3	・品質目標マネジメントシートを用いた、事務事業 の目標設定・自己評価を実施しました。 ・各部署で設定された数値目標について、見直し が必要な事務事業があります。
					元気創造政策課	総務課	行政評価指標(果東モデル)の構築・実 践		・品質目標マネジメントシート(簡素化)及び目標進捗状況 シートを用いて、行政経営ソールの評価・改善を行います。 ・評価基準の明確化を図ります。	3	・品質目標マネジメントシート及び目標進捗状況 シートにより把握できました。 各部署による評価の考え方に齟齬が生じてお り、改めて考え方の統一を図る必要があります。